

# 史唱合 になる 附中の

## 合唱史年表

- S 25年 現N工東北大  
(17位) で2位
- 26 文化祭が始まる
- 27 音楽会が催される  
(17位) 現N工東北大  
で4位
- 33 音楽室落成
- 43 2年連続N工東  
良校に。(3位)
- 44 合唱工クールの発  
かできる
- 47 校内音楽会との名  
前を
- 53 この頃から洋楽文  
化の象徴とされる
- 60 合唱を好む人9  
割に超える  
この頃より三大文  
化が住まれる



文化祭の形、合唱コンクール。今ではすっかり恒例だが、いつ、どのようにして始まったのだろうか？

本校の文化祭は、昭和25年頃より始まった。この年、現N工東北大で第2位（現銀賞）にも輝いている。その2年後、音楽会が催される。フロラムは演奏会あり、独唱あり、招待演奏ありと、

当時の和やかな雰囲気を感じられる。そして昭和44年、今の合唱コンクールへ、各学級が競いあう合唱と表記される。が始まった。審査員も充実して、昨年のN工東北大の編曲でおなじみ、あの横山潤子先生も審査員だったことが、昨年たまたまお会いする機会があり、その際に当時の思い出を懐かし



気は話して下さった。しかし「合唱文化」の表記は、どの文献にもほとんど無い。昔は文化として大きく名前を出すことこそ無かったが、合唱を大切にしていたのだ。そうやって、練習を積み重ねて来たから今があるのだ。今、名ばかりの合唱文化にな。ては、いかにたろうか？先輩方の熱き思いの歴史をもっと誇りとし、歌い継いでいくべきだ。本番では各学級100%の力で、この歴史の音を伸び伸びと奏で、響かせよう。



H30.10月25日(木)  
岩手大学教育学部  
附属中学校  
広報委員会新聞部  
「わだちJr」  
文化祭特別号

## 校長先生が語る 附中の姿

今年、最後の文化祭を迎える。名越校長、三年間を振り返り、今回の文化祭への熱き思いを語った。

一番印象深いのは、本校の誇り、三大文化祭開祭前の清掃には驚いたという。完全無言で長時間、床を磨き上げる姿はまさに圧感。来校者は部屋の間まで注目して欲しい。続いて合唱。先生曰く、附中の合唱には力

が。三年前の学習旅行とあるグループが食事後に感謝の合唱をしたところ、人の輪が。その、合唱の輪が広がって、いく光景には感動したそう。今年も学習旅行でも、奇跡は起きた。講師の一人、高取焼職人の高取忍氏が、歌で涙したのだ。後日本校に茶碗が贈られてきた。校長室に堂々と並び、それは、合唱によって生まれたつながりの

まず一番の思い出。担任学級の生徒が舞台上で感動して泣き出し、伝染していったらしい。本来タフの涙も、努力の証として分かち合えるのが学級合唱。そんなエピソードを数多く知る、今野先生。成功の秘訣は、文化祭には普段の生活がそのまま出る。

この二つの共通点は日頃の姿がそのまま表れることだ。もちろん、広報文化にも言える。他の学習展示、HS発表会といったイベントも同様。充実した日頃の附中生の姿を体感し、楽しんで欲しい。

今年も早速、大好評の附中の生き字引き、今野先生へのインタビューコーナー。今回は合唱コンクールの巻。

今の附中を見てみよう。今年度は例年と比べ、3年中心にパワーを持って、そう、だがパワーがあるて少しの行動で良くも悪くも、広く全体に影響する。集団ならは尚更。だからこそ、自分のアピールポイントを意識し、100%發揮する為、パワーの方向を定めていくべきだ。

★答えは4面です



Q 初めて校外で、コンクールを行った場所は？